

# 電子入札案件工事（委託業務） 内容補足説明書

件 名 上福元 1 号幹線污水管路施設工事(その 1)

区 分	契 約 担 当
担当部署	鹿児島市水道局 管財契約課 契約係
連 絡 先	0 9 9 - 2 1 3 - 8 5 1 1
担当者名	梶 井

## [補足説明事項]

入札、指名通知書等について不明な点があれば、上記の契約担当に電話等で照会してください。  
設計内容等の質問につきましては、公告文に記載のある期日までに上記、契約担当にて書面により受け付けます。

次の項目については、該当する場合は、☒ 印で表示してありますので、確認してください。

- ☒ この工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成 1 2 年法律第 1 0 4 号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事であるため、契約に当たり分別解体等の方法、解体工事に要する費用、再資源化等をするための施設の名称及び所在地、再資源化等に要する費用を契約書に記載する必要があることから、設計図書等に記載された処理方法及び処分場所等を参考に積算した上で入札すること。また、分別解体等の方法等を契約書に記載するために、落札者は落札決定後に発注者と協議を行うこと。
- ☒ この工事等の履行に当たっては、鹿児島市個人情報保護条例に規定する個人情報を取り扱うこととなるので、契約締結に当たっては取扱責任者を定め、契約の履行においては鹿児島市個人情報保護条例を遵守すること。

## [その他]

1. 契約後 1 ヶ月以内に工事着手すること。
2. 施工順番については、担当者と十分協議すること。
3. 地域の安全かつ円滑な交通を図るために、交通誘導員による歩行者及び車両の誘導を行い、工事現場内と沿線の保全に努めること。また、関係機関及び隣接する継続工事の受注業者と協議調整を十分に図ること。
4. 建設副産物については、再生資源の活用を行うものとする。
5. 契約後の「建設リサイクル法関係書類」記載事項と施工計画書の内容は同じであること。
6. マンホール周辺は、十分な転圧を行うこと。また、マンホール調整をする際、交差点の擦付け部等で地盤高が曖昧な場合は、関係機関等と協議すること。
7. 道路内の構造物（側溝・擁壁等）は、十分に養生すること。また、施工中に構造物及び地下埋設物等に自然破損を発見した場合は、速やかに施設管理者と協議し、二次災害の防止に努めること。

## [積算に伴う資料]

1. 令和 7 年度公共事業設計単価表（鹿児島県土木部）令和 7 年 8 月 1 日付
2. 価格刊行物：建設物価・積算資料（2025 年 8 月号）、建設物価・積算資料 推進工事用機械器具等基礎価格表（2024 年度版）、土木コスト情報・土木施工単価（2025 年 7 月夏号）
3. 令和 6 年度下水道用設計標準歩掛表（公益社団法人 日本下水道協会）
4. 令和 6 年度土木工事標準歩掛表（鹿児島県土木部）
5. 令和 6 年度建設機械等損料算定表（鹿児島県土木部）
6. 推進用機械器具損料参考資料（2024 年度版、公益社団法人 日本推進技術協会）
7. 推進用設計積算要領 小口径推進工法 低耐荷力管推進工法編（2022 年改定版、公益社団法人 日本推進技術協会）
8. 推進用設計積算要領 推進工法用立坑編（2011 年改定版、公益社団法人 日本推進技術協会）

9. 建設発生土処分料金 2,700 円/m<sup>3</sup> (術エコシステム)

※公共事業設計単価表に掲載されている単価等は、同図書が適用している刊行物の発刊号を参照すること。

なお、公共事業設計単価表に掲載されていない単価等は、上記の発刊号を参照すること。

※下水道事業の市場単価方式の週休二日補正係数については、令和 7 年度下水道用設計標準歩掛表に準拠すること。